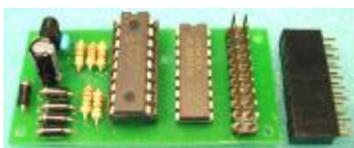


DA9 説明書

8FX on/off デコーダ



DA9ss



DA9

Version 1.00



永末システム事務所



1.概要

1. 機能

1. シンプルな、**on/off** アクセサリデコーダ
2. **c/t** いずれかの指示で **on/off** 動作を指定可能です。
3. **8ch** 完全 独立アドレス
4. **on/off**の状態は、電源を **offline** にしても記憶しています。(個別設定可能)

2 プログラミング方法

2.1 Quick Address Programming

デコーダのアドレスのみ変更したい場合には、この方式が最も簡単です。

手順：

コマンドステーションの **OFFLINE** を確認します。

PGMモード (**PGM** ピンを **V+**もしくは、**RAILA,RAILB** と短絡させます) に切り替えます。

コマンドステーションを **ONLINE** にします。

変更したいデコーダアドレスを選択して、コマンドを送出します。

この時点で、**F1** は新しいアドレスに変更されています。このまま、新たにコマンドを送出すると、**F2** が新しいアドレスに変更されます。この操作を続けることにより、**F1-F8** のアドレスを設定します。

注意事項：

アドレスの変更は、コマンドステーションを **ONLINE** にしてから 1 回だけ可能です。



この機能は、CV572(CV60)のBIT2を0にすることにより、無効化できます。
運用時には、PGMモードに設定しないでください。線路ショート等により、手順
1.2.3.が行われてしまい、想定外のアドレス変更が起きる可能性があります。

2.2 互換モードプログラミング

車載デコーダと同様に、CV513～をCV1～に読替えてプログラミングする方式です。(工場出荷
既定値)

手順：

PGMモード (PGMピンをV+もしくは、RA1A,RA1Bと短絡させます) に切り替えます。

プログラミングトラックに接続します。

車載デコーダと同様にプログラムが可能です。

※出力に負荷を取付けないと、うまく機能しません。

3. 結線方法

F1	□	■	V+
F2	□	■	V+
F3	□	■	V+
F4	□	■	V+
F5	□	■	V+
F6	□	■	V+
F7	□	■	V+
F8	□	■	V+
PGM	■	■	V+
RB	■	■	RA

DA9,DA9ss は、コネクタを使用しています。PIN配置は左図のようになっており、両者共通です。

V+は、基板上でつながっています。



4. 仕様

項目	内容
動作電圧	7V - 22V (絶対定格 22V)
出力電流	各出力連続 0.2A (TD62083AF によるオープンドレイン) 合計出力 1 A以内 連続出力は、放熱無限大の条件です
アドレス設定	1 - 2044
プログラミングモード	全プログラミングモード 及び QuickAddressPGM モード
CV 値リセット	CV520(CV8)=103 の書き込みで出荷時状態にリセット



デコーダプロフィール:
 [製品名] DA9
 [概要] 8FX on/off Decoder
 [説明]
 [アドレス] 1

CV	説明	値	16進	バイナリ	詳細
CV513(1)	アクセサリ 下位アドレス	1	0x01	0000 0001	
CV515(3)	F1 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec
CV516(4)	F2 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec
CV517(5)	F3 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec
CV518(6)	F4 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec
CV519(7)	製造会社バージョン番号	3	0x03	0000 0011	
CV520(8)	製造会社ID	103	0x67	0110 0111	SNJPN:Nagasaki System Design Office
CV521(9)	アクセサリ 上位アドレス	0	0x00	0000 0000	
CV541(29)	内部設定	70	0x46	0100 0110	bit7=互換mode, bit6=OutputAddress, bit5=拡張データ
CV545(33)	#2 LSB	2	0x02	0000 0010	#2下位アドレス
CV546(34)	#2 MSB	0	0x00	0000 0000	#2上位アドレス
CV547(35)	#3 LSB	3	0x03	0000 0011	#3下位アドレス
CV548(36)	#3 MSB	0	0x00	0000 0000	#3上位アドレス
CV549(37)	#4 LSB	4	0x04	0000 0100	#4下位アドレス
CV550(38)	#4 MSB	0	0x00	0000 0000	#4上位アドレス
CV551(39)	#5 LSB	5	0x05	0000 0101	#5下位アドレス
CV552(40)	#5 MSB	0	0x00	0000 0000	#5上位アドレス
CV553(41)	#6 LSB	6	0x06	0000 0110	#6下位アドレス
CV554(42)	#6 MSB	0	0x00	0000 0000	#6上位アドレス
CV555(43)	#7 LSB	7	0x07	0000 0111	#7下位アドレス
CV556(44)	#7 MSB	0	0x00	0000 0000	#7上位アドレス
CV557(45)	#8 LSB	8	0x08	0000 1000	#8下位アドレス
CV558(46)	#8 MSB	0	0x00	0000 0000	#8上位アドレス
CV561(49)	Product No	115	0x73	0111 0011	
CV572(60)	DA9 Config	28	0x1c	0001 1100	bit4=RESUME bit3=FULLACK bit2=QuickAdrsPgm
CV580(68)	F5 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec
CV581(69)	F6 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec
CV582(70)	F7 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec
CV583(71)	F8 設定/動作時間	96	0x60	0110 0000	bit7=DIR, bit6=latch,bit5=resume bit4-bit0:動作時間 00000=∞,0.2-6.2sec